

(別記)

## 2020 年度北斗市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

経営形態は、水稲と畑作、水稲と施設園芸が中心となっているが、畑作・施設園芸単独の経営も増加している。

担い手の多い地域においては徐々に農地の集積が進んでいるが、担い手不足の地域での高齢化による離農跡地の遊休農地化等が目立ってきている現状がある。地域の水田生産力維持のため、水田をフル活用しながら担い手への農地集積を積極的に推進していく必要がある。

そのほか、当市では様々な野菜及び花卉や大豆等の畑作物の作付も行われており、幅広く支援を行っていくことが必要である。

### 2 作物ごとの取組方針等

市内の約 2,300ha（不作付け地含む）の水田について、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

#### (1) 主食用米

米の直接支払い交付金が廃止となったが、北海道が示す生産の目安を遵守するよう呼びかけ、適正な土壌診断及び適期播種、移植、施肥管理等を実施し、需要に応じて安定供給できる「売れるコメづくり」を目指す。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

需要に応じて生産する。

##### イ 米粉用米

需要に応じて生産する。

##### ウ 新市場開拓用米

需要に応じて生産する。

##### エ WCS 用稲

需要に応じて生産する。

##### オ 加工用米

産地交付金を活用し、交付金の対象外となった主食用米に代わる主力の転作作物として位置づける。また、直播、密苗栽培によりコスト削減を図りつつ、水稲作付面積の維持・拡大を推進していく。

##### カ 備蓄米

需要に応じて生産する。

### (3) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆・飼料作物については、他の土地利用型作物との適正な輪作を行いながら作付を維持・拡大していく。また、飼料作物については担い手に対して加算を行い、規模拡大意欲を向上させ、今後の農地の集約化を目指していく。

特に大豆については、弾丸暗渠等の排水対策を積極的に行い、品質の向上を目指す。

### (4) そば

そばについては、地域の実需者との契約に基づき、排水対策等の基本技術を徹底し、安定供給を目指しつつ作付面積を維持・拡大する。

### (5) 高収益作物（園芸作物等）

以下の作物を振興作物として、作付面積の維持・拡大を図る。

「長いも」、「とうもろこし」、「なす」、「かぼちゃ」、「枝豆」、「ほうれん草」、「白菜」、「人参」、「ナス」、「アスパラ」、「みつば」、「ささぎ」、「小松菜」、「水菜」、「ごぼう」、「春菊」、「みょうが」、「サエンドウ」、「大根」、「ブロッコリー」、「ばれいしょ(生食・加工)」、「キャベツ」、「玉ねぎ」、「山芋」、「さつまいも」、「ピーマン」、「パセリ」、「カブ」、「小豆」、「トマト」、「きゅうり」、「ハウスねぎ」、「露地ねぎ」、「いちご」、「ウド」、「カーネーション」、「トルコギキョウ」、「アルケミラ」、「ユリ」、「ソリダゴ」、「ヒマワリ」、「アストランチア」、「キク」、「キキョウ」、「ヒメマワリ」、「パンジー」、「ツツジ」、「アルストロメリア」、「サンダーソニア」、「シヤクナゲ」、「サツキ」、「アザリア」、「ワレモウ」、「カラマツ」、「トドマツ」、「スギ」、「桜」、「イチイ」

### (6) 不作付地の解消

現行の不作付け地について、農業委員会や農地中間管理機構等と連携をとり、担い手に集積することで解消する。

### (7) 耕畜連携

飼料作物への堆肥投入、飼料米の稲わら利用を推進し、耕畜連携を図る。

## 3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	973.9	966.7	960.4
飼料用米	3.7	2.0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	224.2	233.1	233.1
備蓄米	0	0	0
麦	58.5	58.5	58.5
大豆	122.1	149.6	149.6
飼料作物	360.9	360.9	400.0
そば	76.8	90.0	90.0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	222.7	232.4	250.0

野菜	206.2	215.6	233.5
花き・花木	14.9	14.9	14.9
その他	1.6	1.9	1.6

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				前年度（実績）	目標値
1	・野菜（トマト、キュウリ、ハウスネギ）	地域振興作物助成	作付面積	(2019年度) 53.5ha	(2020年度) 54.0ha
2	キュウリ	キュウリ作付拡大助成	作付面積	(2019年度) 1.2ha	(2020年度) 0.5ha
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜（長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、レタス、アスパラ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、サエントウ、大根、ブロッコリー、ばれいしょ（生食・加工）、キャベツ、玉ねぎ、山芋、さつまいも、ピーマン、パセリ、カブ）</li> <li>・穀類（小豆）</li> <li>・露地花卉（ワレモコ、芍薬、桔梗、ヒマワリ、ユリ、アルストロメリア、スイセン、バラ、ツツジ）</li> <li>・種苗（カラマツ、トマツ、スキ、桜、イチイ、サツキ、アザリヤ、ブナ）</li> </ul>	地域振興作物助成	作付面積	(2019年度) 75.0ha	(2020年度) 86.0ha
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜（いちご、ウド）</li> <li>・施設花卉（カーネーション、トルコギキョウ、アルミラ、ユリ、ソリダゴ、ヒマワリ、アストランチア、キク、キョウウ、ヒメマワリ、パンジー、ツツジ、アルストロメリア、サンダーソニア、ジャクナゲ、サツキ、アゼリア）</li> </ul>	地域振興作物助成	作付面積	(2019年度) 7.7ha	(2020年度) 14.0ha
5	・野菜（露地ねぎ）	地域振興作物助成	作付面積	(2019年度) 86.6ha	(2020年度) 96.0ha
6	飼料作物（WCS用稲、飼料用米を除く）	飼料作物作付加算	作付面積 10a当たり収量	(2019年度) 360.9ha (2019年度) 1.2t	(2020年度) 400.0ha (2020年度) 1.3t
7	露地ねぎ	露地ねぎ輪作加算	作付面積 規格品出荷比率	(2019年度) 16.7ha (2019年度) 69.3%	(2020年度) 34.0ha (2020年度) 73.0%
8	そば	そば作付助成	作付面積 10a当たり収量	(2019年度) 76.8ha (2019年度) 45.1kg	(2020年度) 50.0ha (2020年度) 65.0kg
9	飼料作物	耕畜連携	作付面積 取組面積	(2019年度) 360.9ha (2019年度) 4.1ha	(2020年度) 400.0ha (2020年度) 3.1ha
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜（長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、レタス、アスパラ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、サエントウ、大根、ブロッコリー、ばれいしょ（生食・加工）、キャベツ、玉ねぎ、山芋、さつまいも）</li> </ul>	高収益作物等拡大加算	作付面積	(2019年度) 222.8ha	(2020年度) 222.0ha

	<p>いも、ヒーマン、パセリ、カブ、トマト、きゅうり、ハスねぎ、露地萩、いちご、ウチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花き（カーネーション、トルコギキョウ、アルケミラ、ユリ、ソリダゴ、ヒマワリ、アストラチア、キク、キョウ、ヒメマワリ、パンジー、ツツジ、アルストロメリア、サンダーソニア、シヤクナカ、サツキ、アゼリア、ワレモコウ、スイセン、ハラ）</li> <li>・種苗（カラマツ、トマツ、スキ、桜、イチイ、サツキ、アザリヤ、ブナ）</li> <li>・穀類（小豆）</li> </ul>				
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜（長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、レタス、アスパラ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、サエントウ、大根、ブロッコリー、ばれいしょ（生食・加工）、キャベツ、玉ねぎ、山芋、さつまいも、ヒーマン、パセリ、カブ、トマト、きゅうり、ハスねぎ、露地萩、いちご、ウチ）</li> <li>・花き（カーネーション、トルコギキョウ、アルケミラ、ユリ、ソリダゴ、ヒマワリ、アストラチア、キク、キョウ、ヒメマワリ、パンジー、ツツジ、アルストロメリア、サンダーソニア、シヤクナカ、サツキ、アゼリア、ワレモコウ、スイセン、ハラ）</li> <li>・種苗（カラマツ、トマツ、スキ、桜、イチイ、サツキ、アザリヤ、ブナ）</li> <li>・穀類（小豆、大豆、小麦、そば）</li> <li>・非主食用米（加工用米、飼料用米）</li> <li>・飼料作物</li> </ul>	<p>転換作物 拡大加算</p>	<p>作付面積</p>	<p>(2019年度) 1069.2ha</p>	<p>(2020年度) 1071.0ha</p>

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。  
 ※ 目標期間は3年以内として下さい。

## 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり